

## 学生赤十字奉仕団へ感謝状

～米子分団の多年にわたる学習支援などのボランティアが評価

7月9日(火曜日) 児童養護施設米子聖園天使園の母体にあたる社会福祉法人みその児童福祉会が設立5周年記念式典(同施設は100年の歴史をもつ)を迎えるにあたり、米子市上後藤の聖園ベビーホームにおいて記念式典が挙行政され、当団米子分団が感謝状を頂戴いたしました。なお、式典には代表して関係者3名が出席いたしました。

鳥取学生赤十字奉仕団は鳥取大学と鳥取看護専門学校の学生により構成され、今般の感謝状は米子市内にある聖園天使園で活動する、鳥取大学医学部の学生で構成される同団米子分団がいただきました。米子分団は設立10周年(本団は51周年)を迎え、鳥取大学湖山キャンパスから米子キャンパスに移る学生奉仕団員らをもとに設立され、米子聖園天使園にはその当時から活動の場を提供していただいています。

米子分団は、通称を「ぼくそば」といい「僕が傍にいるよ」が語源となっています。その名の通り、いつも子どもたちの傍らに添って心の支えになればとの思いを大切に活動しています。

毎週金曜日の学習支援をメインに、大山アスレチック招待、クリスマス会などの活動の場を快く提供していただいています。

今後とも、地域への貢献と自己研鑽の場として、ご提供していただく環境に感謝して活動を継続できればと思います。今後ともご指導・ご支援をお願いいたします。この場をお借りし感謝とお礼を申し上げます。

